



2013年4月

## 2013年度事業計画・予算を決定

3月28日の京都保健会理事会は、2013年度の事業計画、予算を決定しました。その概要では、次のとおりです。

吉祥院病院リニューアル工事が完了し、市内病院構造転換の第一期完了年度であると同時に、第二期事業計画(2013～2017年度)の初年度です。第二期の柱は「2017年度に中央病院本館リニューアル着手をめざすこと」で、消費税増税、公共料金値上げ等厳しいなかでも、事業・経営活動を前進させ、経常利益は2億9千万円をめざします。

### ●事業計画骨子

1. 質の高い地域医療と介護を切れ目なく提供する使命を実現。
2. 病院・診療所は、①地域での健康づくり運動、②総合的ネットワーク、在宅医療強化、③がん医療含む慢性疾患医療、④子ども貧困問題、⑤チーム医療の前進に取り組む。
3. 中央病院は、病棟再編課題、透析稼働増、各種医療活動の拡大と質向上、新施設を整え教育Activity飛躍等。吉祥院病院は、リハビリ再開、複合型サービス開始

等、在宅療養支援強化病院の推進。京都協立病院は、構造転換事業計画の具体化と新たな方針づくり。

4. 診療所は、①24時間365日を支える地域での役割、②地域医療を担う医師養成の役割、③地域包括ケアの拠点としての役割。小児科診療所は、少子社会の課題、子どもの貧困問題等の重視。歯科診療所は、地域歯科医療の推進、医科・介護との連携。
5. 介護事業所は、民医連がめざす「地域包括ケア」の実現めざし運動と事業の前進。法人内ネットワークの強化と地域連携。経営改善は焦眉の課題。
6. 「あらゆる活動を共同組織とともに」の視点を貫き、会員2千、いつでも元気2百増。基金目標は純増5千8百万円。
7. 民医連医師養成方針による前進。3年連続フルマツチで将来展望を。あらゆる繋がりを生かし、医師確保。
8. 民医連を担う職員育成と幹部養成は待ったなし。全日本民医連「教育活動をすすめるうえでの指針」に添った教育・共育活動をする。
9. 事業所を守り発展させるために、経営改

善と将来を展望し得る経営基盤づくり。

### ●予算骨子

事業収益は159億5千万円で、前年を4億1千万円増加です。内訳は、入院で2億6千万円、外来で7千7百万円、保健予防で3千3百万円、介護で4千3百万円の増、果敢な挑戦の結果です。特に、中央病院は収益増計画で法人全体を牽引しています。

事業費用は156億6千万円、対前年3億8千万円増、収益増をわずかに下回り、人件費、投資を反映した減価償却費等の増加が特徴です。

個別投資は、吉祥院病院リニューアル工事2億2千8百万円(今年度分)とCT更新2千5百万円、中央病院エリアの教育・研修センター、細菌検査室開設、手術室・透析室・病棟改修、ベッド・高額医療機器更新等で計3億8千万円、通常投資は3億円(中央2億、北部3千万、南3千万、介護5百万円、予備3千5百万)の計9億3千万円を投資します。

